

総合科学の基礎C  
哲学思想の基礎

2018/04/27

そもそも「哲学」とは③



# 前回の要点

- 「平等」と一言で言っても、哲学的には、「結果の平等・機会の平等・可能性の平等」などさまざまな概念がある。
  - 平等と自由とは矛盾するので、どうバランスを取ることが哲学的・社会的に重要な論点になる。
- プラトン・アリストテレス・キリスト教が西洋思想の三本柱。
- 「正しい」には、TrueとRightがある。
  - いずれにせよ、正しさは普遍を目指す。

# 今日の予定

- 前回の残り:「認識」という概念。
- 新たな概念として、OntologyとEpistemologyなどを取りあげる。
- 前回分の小テスト
- 前回のコメントで、「正しさ」と「価値観」を混同している人が多かったので、整理する。
- 次回の授業: 来週水曜(5月2日)
  - 新しい授業ファイルを準備している時間的余裕がないので、今回のファイルが二回分。

# 「認識」

- 哲学用語の「認識」は英語でKnowledge:「正しい知識Truth」ということ。
  - 日常語で「認識」は、「個人の解釈・信念Belief」というニュアンスで使われることも多い。
  - 「認識」を和英辞典で引いてみると、
    - Knowのほか、Cognition, Recognition, Understand, Realizeなどが列挙されている。
- 「正しさが普遍的だとすると、みんなが同じことを正しいと**認識**するはずだ」
  - 「真理を知る」という意味ならその通りだが、「個人的な解釈」という意味なら、人間は誤解したり間違ったことを信じたりする。

# KnowledgeとBelief

- 日本語の「認識」: KnowledgeとBeliefの両方の意味で使うようだ。
  - Awareness, Cognition, Recognition, Understanding
- 哲学では、両者は反対概念。
  - 正しい知識: Episteme
  - (社会全体の) 思い込み、俗説: doxa
  - プラトン哲学のポイントの一つ: 「ドクサ (Common belief or popular opinion) を脱して正しい知識へ」
    - 「社会全体が過っている場合」に警鐘を鳴らすのが哲学。

# どうして「人それぞれ」がこんなにも蔓延しているのか？

- おそらく、戦前の「価値観の押しつけ」「権力による強制」への反省。
- しかし、「人それぞれ」などと言っていると、強い者が勝つ。
- 戦前的な「押しつけ」「強制」への対抗としては、「人それぞれ」教育は失策。

– 『コピペと言われないレポートの書き方』あとがきを参照。

# 今日の展開：存在論から認識論へ

- アリストテレスのMetaphysika→Ontologia
- デカルトによる転換：OntologyからEpistemologyへ。
  - EpistemeのLogos：19世紀になって作られた言葉。
- カント：「物自体Ding an sichは認識できない」
  - ただしカントは、認識枠組みは「人類普遍」と考えた。
- 20世紀、相対主義Relativismの流行
  - サピア・ウォーフの仮説
  - ソシユール言語学



# 前回分の小テスト

# 問1

- アリストテレスについて正しいのは？
  - ① 「哲学philosophy」という言葉を作った。
  - ② 主に「存在とは何か」という哲学的な問いを扱った。
  - ③ 物理学から政治学、心理学まで、およそすべての知識の領域について研究した。
  - ④ 12世紀ごろにギリシアで活躍した。

## 問2

- デカルトについて正しいのは？
  - ① 「われ歌う、ゆえにわれあり」と言った。
  - ② 主に「存在とは何か」という哲学的な問いを扱った。
  - ③ 物理学や数学、心理学まで、およそすべての知識の領域について研究した。
  - ④ 紀元前4世紀ごろにフランスで活躍した。

# 問3

- ニュートンの著作の題名は？
  - ① 自然科学の数学的諸原理
  - ② 自然哲学の数学的諸原理
  - ③ 自然科学の哲学的諸原理
  - ④ 自然哲学の科学的諸原理

# 問4

- 江戸時代、philosophyという言葉は何と訳されていたか。

- ① 理学・物理学
- ② 哲学・形而上学
- ③ 教養・文芸
- ④ 芸術・心理学

# 問5

- 「平等」についての考え方として、授業では三つの例を挙げた。言っていないものを選び。

- ① 結果の平等
- ② 機会の平等
- ③ 可能性の平等
- ④ 能力の平等

# 問6

• 「なぜ」という問いの答え方について、アリストテレスの四原因説はどのような考え方か。

- ① 5W1Hで答えるべきだ。
- ② 目的・動力・材料・形相からの答え方がある。
- ③ 自然科学では主に動力を答えるべきだ。
- ④ 原因は人間が経験によって想定する。

# 問7

• アリストテレスは神についてどのように考えたか。

- ① 世界を創造した。
- ② 世界の運動の第一原因である。
- ③ 踊る動者である。
- ④ 全知全能・無限である。



# 問8

- 前回、「善悪、正義非正義などの価値観は人それぞれ」というコメントになんと応答したか。
  - ① そのとおりですね。
  - ② すべての人の価値観は同じです。
  - ③ 個人的な価値観と社会的な規範は異なります。
  - ④ それぞれに異なる個人的な価値観を尊重することで社会が形成されます。

# 問9

- 前回、「国が違くと法律が違う」というコメントになんと応答したか。
  - ① そのとおりですね。
  - ② 価値観や規範は社会や時代によって異なります。
  - ③ 「ウソをついてもよい、盗みをしてもよい」と決まっている国もあります。
  - ④ 国が違っても禁止されていることはおおむね同じです。

# 今日の宿題

- 次回授業が5月2日(水)で、コメントを見ている時間がないので、今回は授業コメントはお休み。
- そのかわり、今回分の小テストをmanabaでやってください。
  - やり方は、コメント提出と同じ。「小テスト」のところにおいておきます。
  - 締め切りは5月1日(火)17時。
- 次回(5月2日)は、授業コメントを出してください。締め切りは5月8日(火)17時。